

議会事務局 処 理 欄	受 付	令和 7 年 5 月 2 2 日	質問（受付）順位	4 番
		1 3 時 0 0 分		
令和 7 年 5 月 2 2 日				
阿久比町議会 議長 竹内 卓美 殿				
阿久比町議会議員 新美 加寿奈 議席番号 3 番				
一 般 質 問 の 通 告 に つ い て				
令和 7 年第 2 回定例町議会において次のように質問したいから通告します。				
番号	質 問 事 項	質 問 の 要 旨 （具体的にご記入願います）		備 考
1	過大規模校化した阿久比中学校の課題と対策	阿久比中学校は、本町在住の中学生年代の多くの子どもが通う、町内唯一の中学校である。令和 6 年度一学期時点で、生徒数は 1, 0 7 0 人、全学年の普通学級数は 2 8 学級、学校全体の学級数は 3 5 学級となり、令和 9 年度にそのピークを迎える予定で、過大規模校（マンモス校）となっている。 学校教育法施行規則第四十一条には、「小学校の学級数は、十二学級以上十八学級以下を標準とする」と学級数の標準が定められており、第七十九条によって中学校にも準用されている。また、文部科学省では、従来から 2 5 学級以上の学校を大規模校、3 1 学級以上の学校を過大規模校とした上で、過大規模校については速やかにその解消を図るように設置者に対して促している。 現在、阿久比中学校に通う生徒や保護者、また数年後に通うことになる予定の家庭からは、学校規模が大きすぎることに對する不安の声が多く寄せられている。子どものことを第一に考える教育環境はもちろんのこと、「阿久比で育ってよかった」という経験が、地元を愛する心を育み、将来的なまちづくりにもつながるものと考え、以下の質問をする。		

番号	質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的にご記入願います)	備 考																								
		(参考資料 1) 学校規模の標準について <table border="1"> <tr> <th></th><th>学校全体の 学級数</th><th>学年の学級 数</th><th>全校児童数 の目安</th></tr> <tr> <td>過小規模校</td><td>6 学級未満</td><td>複式学級～ 1 学級以下</td><td>概ね 100 人 以下</td></tr> <tr> <td>小規模校</td><td>6 学級以上 12 学級未満</td><td>1 学級以上 2 学級以下</td><td>100～360 人 程度</td></tr> <tr> <td>標準</td><td>12 学級以上 18 学級以下</td><td>2 学級以上 3 学級以下</td><td>360～540 人 程度</td></tr> <tr> <td>大規模校</td><td>25 学級以上 30 学級以下</td><td>5 学級以上 6 学級未満</td><td>750～900 人 程度</td></tr> <tr> <td>過大規模校</td><td>31 学級以上</td><td>6 学級以上</td><td>概ね 900 人 以上</td></tr> </table> (参考資料 2) 学校教育法施行規則抜粋 <u>第四十一条</u> 小学校の学級数は、十二学級以上十八学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。 <u>第七十九条</u> 第四十一条から第四十九条まで、第五十条第二項、第五十四条から第六十八条までの規定は、中学校に準用する(以下略)。 (1) 学校規模の標準について ① 今年度の全校生徒数、学年の学級数、学校全体の学級数は。 ② 今後 5 年間の、入学生徒数、全校生徒数、学年の学級数、学校全体の学級数の推移は。 ③ 本町の学校規模の現状についての見解は。 (2) 過大規模校に生じる課題について ① 文部科学省の手引によると、一般に大規模校・過大規模校には次のような課題が生じる可能性がある。以下の、それぞれの課題について、阿久比中学校ではどのような対策が考えられるか。 ア 学校行事等において、係や役割分担のない子供が現れる可能性があるなど、一人一人が活躍する場や機会が少なくなる場合がある イ 集団生活においても同学年の結び付きが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくくなる場合がある		学校全体の 学級数	学年の学級 数	全校児童数 の目安	過小規模校	6 学級未満	複式学級～ 1 学級以下	概ね 100 人 以下	小規模校	6 学級以上 12 学級未満	1 学級以上 2 学級以下	100～360 人 程度	標準	12 学級以上 18 学級以下	2 学級以上 3 学級以下	360～540 人 程度	大規模校	25 学級以上 30 学級以下	5 学級以上 6 学級未満	750～900 人 程度	過大規模校	31 学級以上	6 学級以上	概ね 900 人 以上	
	学校全体の 学級数	学年の学級 数	全校児童数 の目安																								
過小規模校	6 学級未満	複式学級～ 1 学級以下	概ね 100 人 以下																								
小規模校	6 学級以上 12 学級未満	1 学級以上 2 学級以下	100～360 人 程度																								
標準	12 学級以上 18 学級以下	2 学級以上 3 学級以下	360～540 人 程度																								
大規模校	25 学級以上 30 学級以下	5 学級以上 6 学級未満	750～900 人 程度																								
過大規模校	31 学級以上	6 学級以上	概ね 900 人 以上																								

番号	質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的にご記入願います)	備 考
		ウ 同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化する場合がある エ 教員集団として、児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細かな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすい場合がある オ 児童生徒一人当たりの校舎面積、運動場面積等が著しく狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる場合がある。 カ 特別教室や体育館、プール等の利用に当たって授業の割当てや調整が難しくなる場合がある キ 学校運営全般にわたり、校長が一体的なマネジメントを行ったり、教職員が十分な共通理解を図ったりする上で支障が生じる場合がある ② 過去または現在、話し合われているもので、阿久比中学校の過大規模化を予測して行われた学校関係者の会議において以下の項目を検討したことはあるか。あればその内容は。 ア 学校の分離新設 イ 通学区域の見直し ウ 教頭の複数配置 エ 学年団の機能を高める観点からミドルリーダーの役割を果たす教員の配置 オ 教職員の増員 (3) 生徒・保護者からの要望に対する課題と対策について ① 野外教育活動（キャンプ）が2泊3日から1泊2日に縮小され、その内容もウオークラリー、野外炊飯、ものづくり体験といったキャンプらしいものから、日本福祉大学学長の講話や大学見学等に変更した。その理由は。 ② 令和6年度の文化祭（桜輝祭文化の部）は開催されなかった。その理由と、今年度以降の見込みは。 ③ 入学式、卒業式ともに人数が多い弊害が顕著である。 ア 入学式は、保護者と新入生の間に在校生が入るため、入場する姿さえほとんど見えず、自分の子がどこにいるのかわからないという声がある。対策は。 イ 卒業式の証書授与は、壇上で行うため、こちらは遠くてほとんど見えないという声がある。写真販売や動画配信もない。対策は。 ④ 学校規模が大きいため、休み時間に保健室まで行くことが困難なケースもある。女子トイレへ生理用品を設置をする考えは。	

